

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	男女共同参画啓発事業		コード	05-02-02-01	担当課係	人権啓発課男女共同参画係
事業実施期間			担当	担当者	富田 節子	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり				
	中項目	ふれあい豊かなまちづくり				
	小項目	男女共同参画社会の形成				
	施策	広報啓発・市民及び事業者に対する支援・苦情及び相談への対応				

事業について	
目的	真の男女共同参画社会の実現に向けて、市民や団体、企業への啓発及び学習の場を提供することにより、あらゆる分野へ女性の進出の促進、家庭、地域社会、職場などで残っている男女差別意識の解消に向けて、市民一人ひとりの意識改革の取り組みを行う。
対象(誰のために)	男女共同参画に対する意識高揚を目指す市民、事業者
内容	男女共同参画に関するイベント、セミナー、出前講座の開催や標語の募集、広報紙等により男女共同参画の啓発を行う。また男女共同参画交流サロン(ウィズびぜん)の利用を促進し、市民への情報の提供などを行う。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
きらめきフェスタ参加人数	650	人	
啓発標語応募者数	2,552	人	
ウィズびぜん利用者数	2,225	人	
講座等参加人数	386	人	
広報掲載件数	13	件	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,578	国庫補助金等	728	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,503	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	8,081	一般財源等	7,353	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.25	人		
結果指標名	ウィズびぜん利用者数			
結果指標量	2,225			
単位	人			
対前年比	-			
事業費	1,998,900	円		
単位当たりコスト①	898	円		
結果指標名	啓発標語応募者数			
結果指標量	2,552			
単位	人			
対前年比	-			
事業費	1,019,300	円		
単位当たりコスト②	399	円		

事業の成果			
成果指標名	男女共同参画の意味認識率	式又は説明	男女共同参画の意味を認識している人/アンケート提出者数 男女共同参画の意味を知っている割合が高まれば、少なくとも男女共同参画への啓発へとつながる。
成果指標量	17年度		
	89.6%		
到達目標値	95.0%	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的は妥当である 関係法令等: 男女共同参画社会基本法、備前市男女共同参画まちづくり条例	課題認識 男女共同参画社会基本法第9条、備前市男女共同参画まちづくり条例第4条、5条に、市の責務が定められており、妥当な事業である。 男女共同参画の意識を地域に根付かせるために、市が積極的に働きかけ、また、全庁あげて、あらゆる施策の実施に、男女共同参画の視点を反映させるよう取り組んでいる。 市民も積極的に関与し、ニーズも高い事業である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	講座、講演等にNPOまた国、県、市の職員、また関係機関との共催による実施など、民間活力を利用し、経費削減に努めている。また、「きらめきフェスタ」の企画、ウィズびぜん企画、運営、ウィズびぜんより、広報びぜん企画・編集は市民参画で実施、市民のニーズが反映しやすい取り組みとなっている。また、参画している市民にとっても、計画立案に参加しやすい事業でもある。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	目的達成度 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 成果は向上しており今後も向上する見込みである 今後、成果指標は向上する余地がある 事業について積極的に情報提供している 事業実施等で積極的に市民意見を反映している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

総合評価	
コメント	平成14年度に実施した意識調査結果を平成8年度と比較すると意識の改革は促進されており、啓発の成果といえる。しかしながら、性別役割分担意識や不公平感根強く残っており、今後は様々な啓発手段により広く市民各層を対象として、継続的に啓発事業を実施し、意識啓発を図ることにより、男女共同参画社会の形成が図られるものとする。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	2,500人	結果指標量②	2,700人
目標値 成果指標量	95%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	男女共同参画講座の対象者の拡大	H18年度	講座の受講者が増えることにより、男女共同参画の基本的な考え方が広く周知できる。
有効性	基本計画を見直し策定する。	H18年度	総合的かつ計画的な啓発事業を行うことができる。
有効性	市民を入れた企画会議での啓発事業の検討を深める	H18年度	市民との協働で、内容、方法などの工夫をすることにより、効果的啓発が図られ、市民意識の醸成が期待できる。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。